

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 宮城県気仙沼高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒988-0051
気仙沼市常楽130

E-mail : info@kesenuma-h.myswan.ne.jp

Website : http://kesenuma-h.myswan.ne.jp

児童生徒数：男子 421名 女子 390名 合計 808名
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

国際理解教育

① テレビ電話（iPad）を用いた国際交流（希望者）

毎週（月～木）7：30～8：00

震災以降オーストラリアの短期語学研修ができなくなったが、スカイプを用いたテレビ電話交流によって、国際交流を継続できた。昨年度と比較すると今年度は校内での理解度も高まり、参加者数も増加している。

② 留学プログラムの推進

上記と同じく希望者を対象に、各国（アメリカ、ベルギーなど）への留学プログラムのサポートを行った。留学は、震災直後から様々な団体からご支援をいただいているが、募集人数が少しずつ減ってきている。そのため、留学を希望していても必ず参加できるわけではない。参加者数を減らさないためにも、留学に向けて英語指導や作文添削指導、面接指導に力を入れている。

③ ホームステイの受け入れ

震災以降ベルギーの高校との留学プログラムを継続してきたが、今年度はベルギーからの訪問団をホームステイで受け入れ、本校の生徒と交流を行った。

環境教育

自然科学部による活動は、昨年度まで行っていた放射線の測定から、研究内容を変更し、国の天然記念物に指定されている九九鳴き浜が震災前とどのように変わったのか調べた。そして、その研究成果を以下の発表会で発表した。

4月～9月	調査活動、調査報告の作成、研究発表の準備
10月	研究発表会
11月	みやぎサイエンスフェスタ参加
12月	本吉地区理科研究発表会参加
1月～	調査活動の継続、新たな課題の検討

